

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



## WEEKLY

# なごや ちくさ



題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ  
 承認 1982年 8月24日  
 例会日 火曜日 12:30  
 例会場 愛知厚生年金会館  
 事務局 ☎763-5110  
 会長 野村 義雄  
 幹事 深見 章  
 会報委員長 北野 寿三郎

ROTARIANS-UNITED IN SERVICE  
 DEDICATED TO PEACE

ロータリアン——

奉仕に結束 — 平和に献身

1987~88年度 RI会長 チャールズ・C.ケラー

No. 34

第278回例会 昭和63年3月15日(火)

晴

- ◇ “それでこそロータリー”
- ◇ 出席報告  
 会員 56(55)名 出席 41名  
 出席率 74.55%  
 前回 3月8日 (修正出席率)98.18%
- ◇ ビジター紹介 7名
- ◇ お誕生日祝福  
 安藤夫人(3/16)、竹内君(3/20)
- ◇ ニコボックス  
 佐野 寛君 本日のスピーカーを紹介させていただきます。  
 西川 豊長君 ホームクラブを御無沙汰しました。先々週マークアップできなくて申し訳ありません。  
 笹野 義春君 早退させていただきます。  
 三輪 康君 ホームクラブ御無沙汰しております。  
 竹内 真三君 いたずらに馬令を重ねます。今后共々よろしく。誕生日祝い。  
 安藤 鋲之助君 夫人誕生日祝い。  
 永井 正義君、太田 茂君、江崎 民夫君 結婚記念日祝い。
- ◇ バナー紹介  
 CHICO RC 水野 民也君
- ◇ 野村会長挨拶

先月ロータリー情報セミナーが開催されました。詳しいことは4月のクラブフォーラムで、情報委員長よりご報告をお願い致したいと考えていますが、そのセミナーでカウンセラーをなさった津田進バスターガバナーから「ロータリー夜話」という本を頂いております。色々教えられる事が沢山ございますので、本日はその一部をご紹介します。

ポール・ハリスが1905年にシカゴクラブを創りましたが、時が経つにつれ、親睦と相互扶助に耽溺する傾向となったので、彼は1907年

第三代会長となった時、対社会的な意義を自覚させようと例会毎に強烈に説きつづけた結果、100人位の会員中、約半数が欠席する様になり、遂には彼が演説を始めると歌を唄ってこれを中止させる事態となりました。そこでホールは会長を途中で辞任してしまいました。

その後1910年、全米R. C連合会々長になった彼は、3年間に亘るシカゴクラブの親睦派との争いを反省し「合理的ロータリー主義」という論文を書き、その中で「ロータリーを一言で言ったら何か、曰く、寛容な態度を持つべきこと。親睦と奉仕のどちらにも偏らず、それらを調和させること、その中にロータリーは宿る」という考えに達しました。

この3年間の彼の苦悩がロータリー思想の土台を作り上げたわけですが、その経緯が詳述されています。

又ロータリーに做って出来た新組織についても触れておられ、1917年に出来た国際ライオンズ協会誕生の経緯も説明されています。

ライオンズはロータリーから分かれて出来たのだとよく言われる。初期のシカゴクラブにいたメルビン・ジョンズという会員が、ロータリーの七面倒臭い議論にあきあきして、もっと奉仕活動に傾倒出来るクラブを作ろうとして、シカゴクラブをとり出し、ライオンズを作ったという説であるが、之は誤りである。

何となれば、保険業を営んでいたメルビン・ジョンズが、ライオンズの前身となった「ビジネス・サークル」に入ったのが1913年であるが、シカゴクラブには創立間もない頃からチャールズ・ニュートンという保険業者が活躍していたので、シカゴクラブに同業であるメルビン・ジョンズが入れるわけがなかったからであります。

さてロータリーは現実を忘れて、理想のみを追い求めていたわけではない。身体障害児へ人道的慈善の手を差しのべるべしと提唱する行動派の活発な動きがあった。この動きは理論派の強硬な反論を呼び、ロータリーは分裂の危機に直面することになりましたが、テネシー州ナッシュビル・クラブがこの二大対立を見事に氷解させる決議案を、1923年のセントルイス大会に提案、これが決議23-34であります。

事務局に「ロータリー夜話」を置いておきます。皆様のご精読をおすすめします。

◇ 講演

“七宝について”

新工芸評議員（あまR.C.会員）

太田 博明 氏 （紹介 佐野君）



七宝と言う名称は元来宗教的な言葉で各仏典にも見えており一例をあげれば

法華経では金、銀、瑠璃、**砗磲**、碼磨、真珠、玫瑰であり、般若経では金、銀、瑠璃、**砗磲**、碼磨、玻璃、琥珀、等であり美しいと言うことを象徴して七つの貴石を数えたと思われます。そしてあの様な金属製品に七宝と云う名称をつける様になったのは宝町時代からと云われています。

中国に於きましても七宝とは言わず仏郎嵌、洋藍窯大食窯等と言っていた様です。即ち仏郎嵌はヨーロッパ人、又砗磲はフランク、大食窯はアラビア人を中国呼びにしたもので又、景泰藍は明朝の景泰帝の時代に外来のコバルト色が大変きれいであったのでこの名称がつけられたものと思われます。この様な由来を見ましても「七宝」は西方からのものであった事が解るかと思われます。又西歐ではエナメル、エマイユ等と言ひ、クロイゾネは有線七宝の事です。

次に七宝はいつ頃から生れたかということになりますが、その源泉をたどって見ますと、我が国の七宝は奈良時代に中国から渡来したものであり、又中国へは西方から伝来したものでありますのでやはり発生は古代エジプトから西南アジア当りに始まるものと考えられます。事実エジプト十八王朝ツタンカーメン帝の墳墓から黄金板にガラス釉が熔着された

ものが発見されております。以後地中海沿岸の国々で発達して参り、七宝が独得の技法として独立しましたのは西紀5・6世紀頃ヴィザンチン時代であったと思われます。そして次第にヨーロッパに移出されその中心地としてはドイツのケルン。フランスのリモージュ等であります。又一方東方へはシルクロードを経て中国の唐時代に伝来され明時代には非常に盛んになり又清時代には乾隆時代にはいちじるしく進歩したのであります。

我が国に渡来したのは奈良朝に入ってからで頂度中国では唐時代であり遣唐使の往来も盛んになり仏教と共に文物や又色々工人等の渡来有り七宝も伝来したのもと思われます。そして現在残されています最古にして最高のものは奈良の正倉院にあります。御物「黄金瑠 背十二陵鏡」であります。これは銀製十二角の鏡で裏面に「宝相華」文の文様が、「七宝」で仕上げて有り誠に世界に類のないものでこれだけの七宝がその当時出来たという事は驚く外はありません。その後近世まで七宝に関する消息は甚だとぼしいのですが慶長年間に、京都に平田彦四郎道仁という人が有り、長崎でオランダ人より七宝の技術を伝受され京都で七宝を作りました。その遺作としましては、名古屋城上洛殿の杉戸及び襖の引手並びに釘隠し等がありました。今度の大戦で大部分が焼けまして現在襖の引手等は保存してあり、見る事が出来ます。而しその後七宝は衰退しましたが天保年間に尾張の海東都服部村の梶常吉により再び盛んになり現在の様に盛んになったのであります。

地区年次大会開催間近

- 3月26日(土) 会場 名古屋観光ホテル  
昼食会  
会長・幹事会  
R.I.会長代理夫妻歓迎  
希望晚餐会
- 3月27日(日) 会場 半田市福祉文化会館  
本会議
- 3月28日(月) 会場 知多カントリー倶楽部  
親睦ゴルフ大会

◇ 例会変更のお知らせ

名古屋空港R.C 3/28(月)夜間例会の為、PM 6:00より

名古屋瑞穂R.C 3/31(木)F.S.M.の為、神戸屋にてPM 6:00より

◇ 次回例会（3月22日）

講演 “18才の海軍2等兵”

会員 菊池 昭元 君

◇ 次々回例会（3月29日）

講演 “私の職業について”

会員 大矢 佳正君、伊藤 孝君